



伊勢講 (土布子区)

伊勢講では、みそで煮込んだ真つ黒の大根を食べて、洪水の
ない1年と五穀豊穡、家内安全を祈願します。
土布子区は九頭竜川と真名川の合流地点で、昔から河川の氾
濫に悩まされてきました。江戸時代の洪
水で集落の伊勢堂に流木(大根)が引
つ掛かり、濁流(みそ)を防いだとい
う伝説が始まりとされています。
女性がいると大根を煮込む釜が割れる
と言われており、現在でも男衆だけ行
われています。



富嶋応援歌 (富嶋区)

富嶋区には、明治末期、または大正初期の頃から歌い
継がれてきたと考えられる歌詞が残されています。

- 清く澄みし 山荒島
川九頭竜の そのほとり
我がが里 その名もよし
愛と威信に 富嶋よ
白狐せよ 白狐せよ
我が富嶋の 名のために
- 弱気もゆめ 軽んずるな
強気もゆめ 畏れるな
これ盛衰 天運なり
我らはただ 努力せよ
白狐せよ 白狐せよ
我が富嶋の 名のために

集会や祝宴の席、運動会の応援歌としても歌われたよう
ですが、現在は、知る区民も少なくなっています。

尼講「ごしょうごさん」(新河原区)

1895年の京都東本願寺御堂の再建に寄進をした新河原
尼講に、第二十一代門主よりお礼として賜った「ご消息
(お手紙)」を拝聴する尼講が、現在もお正月に開かれ
ています。
「ごしょうごさん」の「ごしょう」とは「ご消息」の
「ごしょう」であり、「ご」とは「講」のことだと思わ
れます。

アラレガコ生息地(新田区)

九頭竜川の大野から福井の区域
は、カジカ類に属するアラレガコ
の生息地として1935年に国の天然
記念物に指定されました。
また、新田区辺りは鮎釣のメッ
カとして県内外に有名で、シーズ
ンともなると多くの太公望で賑わ
うことになりました。



埴安姫神社「里神楽」(葦生区)

4月第2日曜日に行われる埴安姫神社の春の祭礼では、五穀
豊穡と家内安全を祈願した里神楽が奉納されます。神楽の構成
は狂言仕立てを思わせ、太鼓と横笛に乗せた天狗と獅子の躍動
感溢れる舞と翁と姫の滑稽な劇は娯楽性にも富み、見るものを
楽しませてくれます。

明治15年に始められた里
神楽は、地元葦生区青年会
により綿綿と受け継がれ、
近年では、小学生による子
供里神楽も奉納されます。



●旧森目小学校
もりじぞう

旧森目小学校児童の手作
り陶製地藏9体が区民の
援助により設置されたお
堂に安置されています。

15 子授地藏

14 下麻生嶋の六地藏

17 三体地藏

みょうによしようにんごじゆんしゃく
明如上人御巡錫記念碑

12 栗原の六地藏

どんど
動堂の地藏

13 道案内地藏

交通安全地藏

薬師如来が祭られた
お堂の脇には目の病に
効く湧水がありました。



20 いぼおとし岩

21 天皇陛下行幸記念碑

19 釣鐘岩

18 山伏岩



4 稻荷神社



2 南専寺

馬の首地藏

9 廻り地藏

7 流れの地藏

3 埴安姫神社

1 中出登山口駐車場



●水郷

5 大將軍の碑

日本百名山
荒島岳